



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION
 OF Y'S MEN'S CLUBS
 CHARTERED 1979

C/O Tochigi YMCA
 2-7-42 Matsubara
 Utsunomiya 320-041
 JAPAN

THE Y'S MEN'S CLUB OF UTSUNOMIYA

2020年8月1日

第503号

2010～2021 主題

国際会長 IP: Jacob Kristensen (デンマーク)
 “TRUST IN THE RIVER OF LIFE” 「命の川を信じよう」
 アジア太平洋地域会長 AP: David Lua (シンガポール)
 “Make a difference” 「変化をもたらそう」
 東日本区理事 板村哲也 (東京武蔵野多摩) 「変化を！」
 北東部部長 南澤一右 (仙台青葉城)

会長 粕田 晴之
 直前会長 本多 啓夫
 副会長 渡辺 幸子
 副会長 座間 裕二
 会計 新井 一夫
 書記 川村由美子
 ブリテン 中村 俊幸
 担当主事 松本 法判

「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう」
 宇都宮クラブ会長 粕田晴之 「コロナ禍、子供たちを貧困から護る支援を！」
 宇都宮クラブホームページ <http://www.5e.biglobe.ne.jp/~utsuys/ysmens/>
 宇都宮クラブ英文ホームページ <http://www.5e.biglobe.ne.jp/~utsuys/yseng/>

宇都宮ワイズメンズクラブ8月報

第2波、栃木県も200人に迫ろうという急激な勢いです。これまで新型コロナウイルスは、「生物学的な実際の感染、情報など不安の感染、社会的差別の感染」という「3つの感染」を引き起こしてきました。3蜜をさけるために人と人との「物理的距離」は必要ですが、それだからこそ、「心の距離」が遠くならないようコミュニケーションを意識することが重要です。最近では…、ソーシャルディスタンスから「フィジカルディスタンス」と呼び方を変える動きもあります。7月第一例会は幸にも顔合わせ会として開催できましたが、今後しばらくはZoom例会が続きます。クラブ会員の「心の距離」が遠くならないよう心がけたいと思います。
 《粕田》

<8月例会プログラム>

日時: 8月12日(水) 19時～
 会場: Zoom 例会

司会: 山田
 会長挨拶 粕田 会長

協議事項

- ◆子どもSUNSHINEプロジェクトについて
- ◆2022年6月開催・東日本区大会について
- ◆その他

個人アピール

ハッピーバースデー&ドライブ
 YMCA ニュース 松本担当主事
 閉会挨拶

§ 今月の聖句 §

だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行うように心がけなさい。できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らさなさい。
 ローマの信徒への手紙 12章 17節～18節

8月の予定

- 12日(水) 第一例会 Zoom 例会 19:00～
- 26日(水) 第二例会 Zoom 例会 19:00～

9月の予定

- 9日(水) 第一例会 時間、場所未定
- 23日(水) 第二例会 時間、場所未定

☆今月のHAPPY BIRTH DAY☆

- 13日 須藤へレンさん 21日 大谷紘三君
- 21日 中込ひろみさん 28日 鷹箸久泰君
- 30日 本多敬子さん

7月例会	出席率	43%	BF	切手	震災支援	シゲドラ
在籍者	35名	広義会員	名	先月	kg	¥11,910
例会出席	14名	メネット	2名	累計	kg	¥198,920
メイキャップ	1名	ゲスト	1名	Y3	1名	

《宇都宮クラブ7月キックオフ例会》

日時：2020年7月8日（水）18:30～20:30

場所：ホテルニューイタヤ

参加者（敬称略）

メンバー：新井 上野 遠藤 大久保 粕田 川村
座間 塩澤 十河 松本 安井 矢部 山田
渡辺（田村） 14名

メネット：上野 十河 2名

Y3：荒井

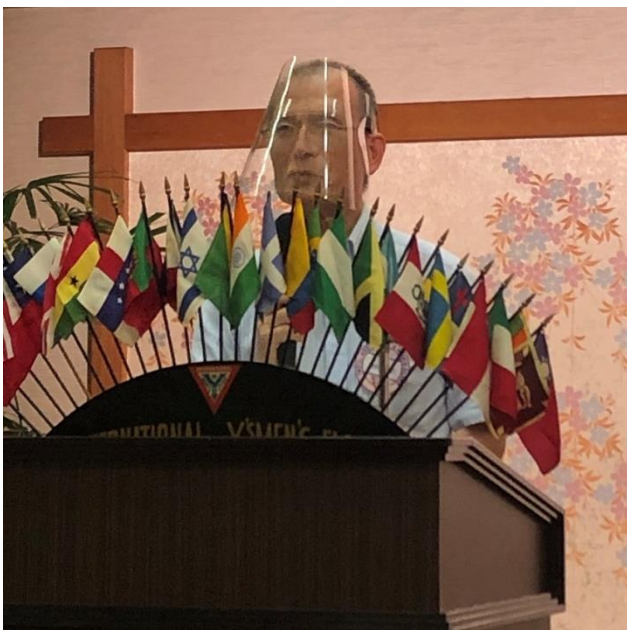
ゲスト：中野謙作さん

Zoom参加者：



西村（タイチェンマイ）小原（たんぼぼ）高橋（東京）
沢内（厚木）、御園生 篠原（東京西）
栗本（熱海） 7名

会長挨拶



このたび2回目の会長を受けることになりました。仕事上の都合で水曜日に変更させて頂くことになり、ご迷惑おかけしますが宜しくお願い致します

す。

主題を「コロナ禍、子供たちを貧困から護る支援を！」とし、その方針を以下3つとしました。

1. 「社会的処方」への協力：地域の資源を見直して「地域での人のつながり」の拡大を図り、「社会的に孤立」し助けを必要としている人たちを支援する。
2. 「子どもの貧困」に対する支援：コロナ禍で厳しさを増した「貧困層の子供たち」の困難な状況を把握し、「サンサンプロジェクト」を通じて支援する。
3. 会員増強と出席率向上：「サンサンプロジェクト」を通じて会員増強を図り、顔を合わせ例会にWEB参加を併用し出席率向上を目指す。

巻頭言で述べたように、新型コロナウイルスは「3つの感染」を引き起こしましたが、特に痛ましいのは偏見による「社会的差別の感染」です。このような観点からも、「貧困層の子供たち」の支援に取り組んでいきたいと考えています。

スピーチ

ゲストスピーカー 中野謙作さん

「子どもの貧困の現状と学びと貧困と社会の支援」

ゲストスピーカー中野さんの紹介

東京出身の中野さんは、25年前から高根沢で塾を運営しており、10年前から子ども若者支援の法人を立ち上げ、子どもや若者の貧困に真正面から向き合ってきている。学習支援、発達支援、生活困窮者自立支援、子ども食堂、就労支援、など幅広く専門的にかかわっている。



Zoomで見の中野さん、上にはZoom参加者が出ている。

日本では、他の国と比べても不登校、引きこもりなどが多く、特に貧困家庭に多いのが傾向。若年層の人口減少が進む一方、不登校児は増加傾向にある。栃木県の実態として、高校中退は600人、ニートは500人、いじめは年に4,800件起きていて、まさに学校があればいじめありというのが現実。高校

中退者の半分は貧困世帯から出ている。

栃木県の平均所得は年 400 万円と言う。相対的貧困家庭というのは、所得が半分の年 200 万円以下の家庭を指す。子どもの数では 7 人に一人、35 人学級だと平均して 5 人は相対的貧困家庭にいるというのが現実。貧困は外から見えないので孤立しがちだと言う。さらには、経済格差が教育格差にもつながっている。ひとり親世帯（その多くは母子世帯）の 66%は相対的貧困世帯に入ることになる。

引きこもりというのは、6 か月以上他者とかわからない生活を続けている人を指すが、全国には 54 万人。コロナ禍の中で、これらの相対的貧困家庭はかなり追い込まれていると言えよう。行政は縦割り制度の中で子どものニーズに手が届かないのが現状である。見えないところに様々な問題がある。例えば、発達障害であったり、家族が機能していないなど。母親自身の生き立ちも関係してくる。さらに、そこに至る前のグレーゾーンにいる家庭も多い。そしてこれらの家族の実態には気づきにくいというのが現実。

関係性も困窮しており、頼る人がいない、頼れないのが現状。そんな親に代わって何が必要かを考える伴走者が必要となっている。学校を休むようになった子どもでも、学校以外で学べる場が必要である。そんな学びの場を誰が生み出すか？それは、学校復帰を前提としない学びの場、オンラインで学べる場、と言った新しい学びの場を生み出していくことが必要ではないか。

これからの展開はどうするか？

宇都宮には約 5 千人の相対的貧困家庭の子どもが存在する。学習支援を受けているのがそのうち 400 人である。親には働く場がない、希望を持ってないという家庭の子どもたちには安心安全の学びの場が必要である。学校の在り方や親の仕事を確保する事より前にまずそれらの家族を支える仕組みが必要である。そんな出口を地域に見出すことがまず求められている。

高校 3 年間、大学 4 年間、そして仕事という「普通の」経験をもつ人は全体の 4 割しかいない。そうでない人たちは、排除されがちである。特に発達障

害を持つ 6.5%の子どもたちには高い壁が目の前をふさいでいる。発達の問題がある子どもには、段階的な就労準備が必要で、子どもの時から褒められることや認められる経験が必要。そのために個別の場づくり、仕事づくりが必要となる。安全な環境の中で、食べる、学ぶ、遊ぶ、そして人とのつながりを得られる、そんな居場所が必要である。そのためには、家族以外でも相談できる人、支援をしてもらえる人が必要とされている。特に今、コロナ禍のなかで、教育格差は広がり、引きこもりが増え、社会はあらたな取り残おしのない教育を必要としている。

《7月第2例会報告》

7月第2例会（Zoomで7月22日に役員会開催）

出席： 粕田、大久保、川村、座間、塩沢、中村、松本、山田 8名

◆子どもSUN SUNプロジェクトについて

塩沢さんより、『子ども食堂 みんなの食堂キャラバン』の紹介がありました。

いつでも・どこかで・だれもがさんかできるみんなの居場所を。ということで、清原地区の

自治会連合会や民生委員、保育園、小学校、大学、地域包括支援センターやとちぎYMCAなど様々な分野の団体が「子どもの貧困撃退円卓会議」に参加。

青空の下で、子供たちに温かい食事や、子供たちが安心できる居場所づくりを提供しています。

コロナ感染防止対策として、室内での開催が難しい為、これからはキッチンカーなどを使用して、様々な場所でも食事が提供できるようにとの事でした。

このプロジェクトに、宇都宮ワイズメンズとしてどのように関わられるかを8月の第一例会で検討します。

◆2022年6月開催・東日本区大会について

2020年10月には実行委員会を立ち上げ。

実行委員のメンバーについては、宇都宮ワイズメンズクラブと県内のクラブ、埼玉クラブ、宮城クラブなどにも声をかける。（Zoomでの会議が可能なため）

実行委員長を8月の第一例会で決める予定

《YMCA の予定》

サマープログラム

- 7/23 (木祝) とちぎ YMCA スポーツクラス
- 7/24 (金祝) 親子でスポーツ
- 7/25 (土) サッカーフェスティバル
- 7/26 (日) とちぎ YMCA スポーツクラス
- 8/4 (火) ~5 (水) 那須アドベンチャーキャンプ
- 8/3 (月) ~5 (水) 3 Days スクール 1 期
- 8/6 (木) ~8 (土) 3 Days スクール 2 期
- 7/27 (月) ~31 (金) 放課後スポーツキッズ 1 期
- 8/17 (月) ~21 (金) 放課後スポーツキッズ 2 期
- 8/24 (月) ~28 (金) 放課後スポーツキッズ 3 期
- 8/4 (火) ~6 (木) 短期水泳 1 期
- 8/17 (月) ~19 (水) 短期水泳 2 期
- 8/10 (月祝) 親子でレッツウォーク!
- 8/22 (土) 手作りてつどう隊!
- 8/23 (日) 水あそびづくし!
- 8/29 (土) まち探検 in 鹿沼
- 8/30 (日) 縄文人になろう!

詳しくはホームページをご覧ください。

YMCA イングリッシュ

今年の夏は、コロナで休講した分の振り替えクラスを実施します。また Zoom での英検対策講座がスタートします。

詳しくはホームページをご覧ください。

以下、コロナで中止のプログラムです。

リーダーズフォーラム

高校生ボランティアスクール

リレー・フォー・ライフ 2020 とちぎ：がん患者や家族を支援するチャリティーイベント

幼稚園プール解体：職員のみで実施予定

《感謝申し上げます》

ワイズ「つながりマスク」プロジェクト

新井一夫メン、紀代子メネットに「手作りマスク」15枚を製作していただきました。

心より感謝申し上げます。



《さくらんぼ便り》

7/21 デイキャンプ

毎年恒例の年長組の宿泊保育は新型コロナウイルス感染症対策のため、宿泊はせず宇都宮市森林公園でのデイキャンプに変更して実施しました。赤川ダム一周ウォーキング、草原でのレクリエーション、カエルやバッタをつかまえたりして過ごしました。人間の「五感」をつかって謎を解くスタンプラリーでは、グループで協力して自然の中を散策しました。梅雨の合間の曇り空に感謝いたします。



水あそび活動

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1クラスずつ、もしくはクラスを半分に分けて入水人数を少なくするなどして実施しています。



《さくらんぼ幼稚園願書配布》

2021年(令和3年)4月からの入園希望者に、9/1(火)から幼稚園事務所で願書を配布します。

《願書受付》

9/8(火)午前8時から先着順に定員まで願書を受け付けます。

栃木県シルバー大学校川柳クラブ OB
《佐藤隆久メン川柳コーナー》
九九教え スマホ操作を 孫に聞く